

板橋区立中央図書館における
イタリア・ボローニャ市立サラボルサ児童図書館との
姉妹図書館提携及び関連事業報告書（2021～2024）

令和 6 年 12 月
教育委員会事務局 中央図書館

目次

1. はじめに	p. 2
2. 姉妹図書館提携締結	p. 3
(1) ボローニャ市立サラボルサ児童図書館とは	p. 3
(2) 締結セレモニー	p. 4
(3) 姉妹図書館宣言	p. 5
(4) IFLA への報告	p. 6
3. 連携事業の状況	p. 8
(1) オンラインミーティング	p. 9
(2) 連携展示	p. 12
(3) わらべ歌収集プロジェクト P.O.L.P.A.	p. 14
(4) ぬいぐるみおとまり会	p. 15
(5) その他	p. 18
4. おわりに	p. 18

1. はじめに

2021年3月28日、板橋区立中央図書館がリニューアルオープンした。この新館には、ボローニャ児童図書展事務局からの寄贈本を主な蔵書としたいたばしボローニャ絵本館（旧：いたばしボローニャ子ども絵本館）が併設された館である。さらに、新館移転にあたり実施された、ボローニャ市と板橋区の共同デザインコンテストによる、ボローニャ市・板橋区の交流を象徴する特別なモニュメント、「ボローニャギャラリー」も中央に設置されているなど、新館はボローニャ市との繋がりを体現した図書館である。

この新館オープンを機に、友好交流都市であるイタリア・ボローニャ市との交流をさらに促進し友好関係を深めることを目的に、ボローニャ市立サラボルサ図書館との姉妹図書館提携を締結した。これは、IFLA（国際図書館連盟）が提供する「Sister Libraries programme（姉妹図書館プログラム）」を利用したものである。

締結後3年が経過したことを受け、連携の経緯及び連携状況を報告する。



Sister Libraries programme（姉妹図書館プログラム）とは

国際図書館連盟（IFLA）の児童・ヤングアダルト分科会のプロジェクトの一つで、図書館同士がパートナーシップを結び、互いの知見を交換し、児童・ヤングアダルトの読書環境充実のために協力することを目的としている。

プログラムに参加するには、専用のサイトに登録後、登録している図書館の中から姉妹図書館締結を希望する図書館にメールで直接連絡する。姉妹図書館締結後、IFLAの担当者にその旨を報告すると、登録サイト上「姉妹図書館締結済」であることが表示される。

公式サイト：<https://www.ifla.org/node/1746>

2. 姉妹図書館提携締結

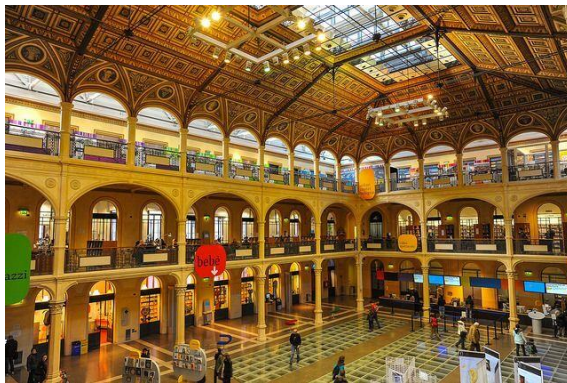
(1) ボローニャ市立サラボルサ児童図書館とは

正式名称	Biblioteca Salaborsa Ragazzi
------	------------------------------

概 要

2001 年、ボローニャ旧市街の中心にある、一般向けの市立図書館である「サラボルサ図書館」とともに開館した、イタリアでも随一の児童図書館。

ボローニャ児童図書展事務局から寄贈された世界各国の絵本を所蔵し、ボローニャ児童図書展期間には、関係機関と協力してさまざまなイベントを実施している。



(2) 締結セレモニー

日 時	2022 年 3 月 22 日 (火) 19~20 時 (日本時間)
場 所	板橋区立中央図書館／ボローニャ市立サラボルサ児童図書館
実施方法	オンライン会議形式
参 加 者	【板橋区】中央図書館長、地域教育力担当部長、ブランド戦略担当課長、文化・国際交流課長、美術館長、文化・国際交流係長、ボローニャ絵本係長、ボローニャ絵本係副係長 【サラボルサ】ボローニャ市文化スポーツプロモーション部図書館課長、サラボルサ図書館・地区図書館総館長、サラボルサ児童図書館館長、サラボルサ図書館司書、ボローニャ市ヨーロッパ国際部国際交流プロジェクト担当、通訳・コーディネーター、他 5 名



セレモニーの様子



姉妹図書館宣言への署名



寄附した中央図書館のエプロン

(3) 姉妹図書館宣言

姉妹図書館宣言

図書館は、世界の多様性と豊かさが住まう空間です。

図書館は、地図のように、図書館の属する地域が生み出す文化を記録していきます。

図書館は、民主主義と平等の精神のもと、地域の誰もがあらゆる情報にアクセスできる環境を整え、より自由に主体性をもって生きていくことができる社会づくりに貢献します。

とりわけ、未来を担う子どもたちや、周囲の大人たちにとって、図書館は情報の大海から新しいやり方や考え方を発見するのを助け、さまざまな経験を提供する開かれた場所です。

図書館がそのようにあるためには、他者との比較や対話、未知との出会いが必要です。それにより図書館はより開かれ、より多様な人たちが集まるようになります。そうすれば誰もが学ぶ機会を得、心豊かな人生を歩むことができる社会にするにはどうすればいいか、考えられるようになるでしょう。

他者との出会いによって、新たな自分を発見したり、相手の語る言葉に耳を傾けることで、物事がよりよく見えるようになります。つまり、図書館のあるべき姿や役割について、互いにより広い視野をもつことができるようになるのです。

ボローニャ市立サラボルサ児童図書館と板橋区立中央図書館との姉妹図書館締結によりうまれる絆は、このようにとても大切なものです。私たちのこれからの活動が、子どもたちの未来を育み、平和な社会づくりに寄与することを確信し、ボローニャ市立サラボルサ児童図書館と板橋区立中央図書館は、ここに姉妹図書館提携を結ぶことを誓います。

活動宣言

- ・私たちは、図書館員同士で交流し、プロジェクトを共に進め、さまざまな情報を共有していきます。
- ・私たちの図書館のすべての利用者が、互いの文化に触れる場所と機会を提供します。
- ・私たちは、絵本をはじめ、幅広く子どもの文化を収集、保存し、未来の子どもたちに手渡していきます。

私たちは手をとりあい、ともに成長していきます。

令和4年3月22日

板橋区立中央図書館長

大 橋 薫

大 橋 薫

ボローニャ市立図書館総館長

Veneranda

ヴェローニカ・チェルーティ

(4) IFLA への報告

IFLA より、姉妹図書館提携締結に際し、双方での交流についての案内を求められたため、以下 IFLA ニュースレターへ報告記事を掲載した。

掲 載 先 IFLA CYA NEWS LETTER (Spring issue 2022)

寄稿内容

イタリアのボローニャ市立サラボルサ児童図書館と、板橋区立中央図書館は、2022 年 3 月に国際図書館連盟児童・ヤングアダルト図書館分科会のプロジェクトを通じて姉妹図書館となりました。

ボローニャ市と板橋区の交流は、1981 年に板橋区立美術館で「ボローニャ国際絵本原画展」を開催したことに端を発しています。さらに 1993 年以降、板橋区はボローニャ児童図書展から毎年海外の絵本の寄贈を受けるようになりました。2005 年 7 月、交流 25 周年を機に、ボローニャ市と板橋区は「友好都市交流協定」を締結しました。

2021 年 3 月 28 日、板橋区立中央図書館がリニューアルオープンしました。新館の 1 階中央には、ボローニャ市と板橋区の友情の象徴である特別なモニュメント「ボローニャギャラリー」があります。ユネスコ世界文化遺産に登録されたボローニャ市の「パルティコ」をモチーフに設計されたものです。私たちは、これを機にボローニャ市立サラボルサ図書館との交流をさらに深めたいと考え、国際図書館連盟の姉妹図書館プロジェクトに登録しました。

姉妹図書館提携の最初のステップとして、私たちは一緒に「姉妹図書館宣言」を策定することを計画しました。宣言の草案を何度もメールで交換し、一緒に内容を検討しました。言語の壁や文化の違いもあり、簡単なことではありませんでしたが、私たちの誠意と熱意のこもった素晴らしい宣言を作り上げることができました。私たちはこの宣言をととても誇りに思っています。

姉妹図書館宣言については、両館のホームページでご覧いただけます。英語版については現在準備中です。

3 月 22 日、オンラインで姉妹図書館宣言の調印式を執り行いました。両館の館長が宣言に署名し、互いに記念品を贈り合いました。式典は家庭的でリラックスした 雰囲気の中で行われました。直接会うことは叶いませんでしたが忘れがたい素晴らしい時間となりました。

姉妹図書館締結を記念し、3 月 21 日から 4 月 16 日まで「日本の絵本 100 年」展を両館で同時に開催しました。本展は、広松由希子著、玉川大学出版刊の新刊「日本の絵本 100 年 100 人 100 冊」にちなんだものです。開催にあたり、広松氏の著書に掲載されている絵本のうち、板橋区立中央図書館と板橋区立美術館の所蔵する絵本約 40 冊を選び、サラボルサ児童図書館に送りました。

姉妹図書館提携の次のステップとして、私たちは P.O.L.P.A (Poesia Orale Ludica Puerile Autentica) プロジェクトへの参加を計画しています。このプロジェクトは、イタリアの詩人ブルーノ・トニョリーニが、子どもたちの生の声を長年にわたって収集した遊び歌のコレクションで、聴きたい人が誰でも聴くことができるようにすることを目的に、ボローニャ・ビブリオテカに寄贈したものです。子どもたちの遊び歌は、貴重な文化的資料として収集・保存し、次の世代に受け継がれるべきものです。このプロジェクトに参加することで、イタリアの子どもの文化に親しみ、また日本の子どもの文化をイタリアに紹介できることをとても嬉しく思っています。

加えて、定期的にオンラインミーティングを開催し、図書館員同士でおすすめの児童書を紹介し合ったり、図書館活動に関する情報を交換したりできればと考えています。

私たちの姉妹図書館関係はまだ始まったばかりで、無限の可能性を秘めています。私たちの姉妹図書館交流は、子どもたちにより良い現在と未来を提供し、平和な社会づくりに貢献すると信じています。私たちの今後の活動にぜひご期待ください。



Infinite possibilities

A "Sister Libraries" partnership between two public libraries in Italy and Japan

Tomoko Sasaoka
Itabashi Central Library, Tokyo, Japan

The public library "Biblioteca Salaborsa Ragazzi" Bologna, Italy and Itabashi Central Library, Tokyo, Japan, became sister libraries in March 2022 through the project of IFLA Libraries for Children and Young Adult Section.

Cultural exchange between Bologna and Itabashi began in 1981 when the Itabashi Art Museum began to host the "Bologna Children's Book Fair Illustrators Exhibition". Furthermore, since 1993, Itabashi City has been receiving donations of foreign picture books from the Bologna Children's Book Fair every year. In July 2005, a "Friendship Agreement" was signed between the two cities celebrating the 25th anniversary of cultural exchange.

On March 28, 2021, the new Itabashi Central Library was opened. In the centre of the first floor of the new library, there is a special monument called the "Bologna Gallery", a symbol of friendship between Bologna and



Itabashi. The design is based on the "porticos" of Bologna that became a UNESCO world heritage. In order to deepen our relationship with Biblioteca Salaborsa Ragazzi, we decided to apply to the IFLA Sister Libraries Project.

As the first step of our sistership, we planned to write our "Sister Library Declaration" together. We exchanged drafts for the declaration by email many times and discussed the contents together. Although it wasn't

10

easy because of the language barrier and cultural differences, we were able to come up with a wonderful declaration based on sincerity and enthusiasm. We are very proud of this! You can see our Sister Library Declaration on our websites¹³.



On March 22, we held the signing ceremony online. The directors of both libraries signed the declaration and presented souvenirs to each other. The ceremony was held in a relaxed and friendly atmosphere. We couldn't meet face to face but we will never forget this moment!

To celebrate our sistership, we held a special exhibition of Japanese picture books "100 years of Japanese picture books" simultaneously from March 21 to April 16. The selection of the books was based on a newly published book entitled "Nihon no Ehon Hyakunen Hyakusatsu (Japanese picture books: 100 years, 100 illustrators, 100 books)" written by Yukiko Hiromatsu and published by Tamagawa University Press. The Itabashi Central Library and Itabashi Art Museum selected about 40 Japanese picture books featured in Hiromatsu's book and sent them to Biblioteca Salaborsa Ragazzi.

¹³ Italian edition: <https://www.biblioteca.salaborsa.it/ragazzi/documents/sister-libraries>
Japanese edition: <https://www.cpl.itabashi.tokyo.jp/library/pshimese/2000605.html>
The English edition will be available soon

For the next step, we are planning to work together on



the P.O.L.P.A. (Poesia Orale Ludica Puerile Autentica) project. This project draws upon an audio visual collection of children's songs and nursery rhymes collected by the Italian poet Bruno Tognolini over several years, which has been donated to "Bologna Biblioteche" with the aim of making them available to all those who want to listen to them. Children's songs and nursery rhymes are valuable cultural material that should be collected, preserved, and passed on to the next generation. We are very excited to join this project and get familiar with Italian children's culture and introduce Japanese children's culture to Italy.

In addition, we would like to meet regularly online to share recommendations on children's books and exchange information about library activities.

Our sistership has just started and we think that it has infinite possibilities. We believe that our sister library exchange will contribute to improve the present and future of children in a peaceful society. Please look forward to our future activities!

3. 連携事業の状況

姉妹図書館提携を基礎とし、板橋区立中央図書館とボローニャ市立サラボルサ児童図書館は、姉妹図書館として、

1. 図書館活動の紹介に関すること
2. 図書館資料の充実に関すること
3. 図書館職員の人材育成に関すること
4. 図書館活動の充実に関すること
5. その他相互に必要であると認めたこと

を連携実施することとした。

以下、各連携の状況を報告する。

<参考 各観点と各連携事業ほかとの関連>

連携事業ほか	1	2	3	4
(1) オンラインミーティング		○	○	○
(2) 連携展示	○	○		○
(3) わらべ歌収集プロジェクト	○			○
(4) めいぐるみおとまり会	○			○
(5) その他 「私のイチオシ絵本リレー」参加	○	○		○

(1) オンラインミーティング

それぞれの図書館での活動についての情報共有や、合同展示・プロジェクト実施に関する話し合いのため、定期的なオンラインミーティングを実施している。

実施状況

日時	参加者
	議題
R4. 10. 5	中央図書館（館長ほか3名）、サラボルサ（館長ほか1名）、区立美術館（館長ほか1名）、コーディネーター1名
	1 令和3年3月実施の日本の絵本展について 2 わらべうた収集プロジェクト POLPAについて 3 電子図書絵本の相互利用可能性について 4 むいぐるみおとまり会について
R4. 12. 21	中央図書館（館長ほか3名）、サラボルサ（館長ほか1名）、区立美術館（館長ほか1名）、コーディネーター1名
	1 むいぐるみおとまり会の振り返り 2 現在の両館の状況 3 おすすめの絵本の紹介 4 交流展示について
R5. 1. 12	中央図書館（館長ほか3名）、サラボルサ（館長ほか1名）、区立美術館（館長ほか1名）、コーディネーター1名
	1 年末年始の両館の様子 2 今年のBOOM!について 3 交流展示について 4 POLPA プロジェクトについて 5 絵本紹介
R5. 2. 22	中央図書館（スタッフ3名）、サラボルサ（館長1名）、区立美術館（館長ほか1名）、コーディネーター1名
	1 POLPA プロジェクトの報告 2 交流展示について 3 国際母語デーにサラボルサで実施した、まねきねこの会によるおはなし会の紹介

R5. 5. 10	中央図書館（館長ほか 4 名）、サラボルサ（スタッフ 1 名）、 区立美術館（館長ほか 1 名）、コーディネーター 1 名
	1 POLPA プロジェクトについて 2 「イタリアの絵本展」について 3 最近のイタリアの様子について 4 おすすめ本合同紹介企画について（提案）
R5. 9. 28	中央図書館（館長ほか 2 名）、サラボルサ（館長ほか 1 名）、 コーディネーター 1 名
	1 「イタリアの絵本展」資料返送について 2 POLPA プロジェクトについて 3 絵本合同紹介企画（提携 2 周年記念展示）について 4 最近のサラボルサのようすについて
R5. 10. 18	中央図書館（館長ほか 2 名）、サラボルサ（館長ほか 1 名）、 区立美術館（館長ほか 1 名）、コーディネーター 1 名
	1 めいぐるみおとまり会について 2 姉妹図書館提携 2 周年記念展示について 3 POLPA プロジェクトについて 4 サラボルサについて
R6. 2. 16	中央図書館（館長ほか 2 名）、サラボルサ（館長ほか 1 名）、 区立美術館（館長 1 名）、コーディネーター 1 名
	1 めいぐるみおとまり会について 2 POLPA プロジェクトについて 3 BCBF、BOOM!、「世界の目」展について 4 姉妹図書館提携 2 周年記念展示について
R6. 6. 19	中央図書館（館長ほか 2 名）、サラボルサ（館長ほか 1 名）、 区立美術館（館長ほか 2 名）、コーディネーター 1 名
	1 姉妹図書館提携 2 周年記念展示について 2 BOOM!について 3 POLPA プロジェクトについて 4 めいぐるみおとまり会について
R6. 10. 18	中央図書館（館長ほか 2 名）、サラボルサ（館長 1 名）、 区立美術館（館長ほか 2 名）、コーディネーター 1 名
	1 夏休みの図書館の様子について 2 めいぐるみおとまり会について 3 POLPA プロジェクトについて

BCBF(Bologna Children's Book Fair) とは

毎年春に北イタリアのボローニャ市で行われている、児童書の見本市。そのはじまりは 1964 年と古く、60 年以上の長い歴史があります。

児童書の販売や版權取引など、ビジネスの場としての“見本市”である一方、ボローニャ国際絵本原画展(イラストレーター展)やボローニャ・ラガッツィ賞などの企画を実施し、また開会式は国際アンデルセン賞・ブラチスラバ世界絵本原画展といった絵本・児童書の国際的な賞の発表の場となるなど、芸術分野の振興を担うといった側面もある。

公式サイト: <https://www.bolognachildrensbookfair.com/en/home/878.html>

BOOM! とは

ボローニャ市と BolognaFiere によって推進され、図書館・文化福祉部門とボローニャ読書協定の一環として Hamelin によって管理されている、BCBF の関連企画群。

児童ブックフェアの開催前、開催中、開催後に、町の書店や図書館などが一体となって、展覧会・著者との会合・ワークショップ・朗読会・ショー・映画上映会など多種多様な関連企画が開催される。

公式サイト: <https://www.boomcrescereneilibri.it/>

(2) 連携展示

① 「日本の絵本 100 年 100 人 100 冊」展

期 間 2022 年 3 月 21 日～4 月 16 日

場 所 サラボルサ児童図書館 及び 中央図書館（同時開催）

姉妹図書館提携締結記念として、『日本の絵本 100 年 100 人 100 冊』（広松由希子／著、玉川大学出版、2021 年刊）をもとに、サラボルサ児童図書館へ日本の絵本 約 40 冊を貸出し、同時開催にて展示を行った。



サラボルサ児童図書館での展示の様子



中央図書館での展示の様子

② 姉妹図書館提携締結 1 周年記念展 イタリアの絵本展

期 間 2023 年 3 月 22 日～4 月 21 日

場 所 中央図書館 1 階 25 番書架

提携締結 1 周年を記念し、サラボルサ児童図書館で人気の絵本 20 冊を借用、展示した。展示した絵本はその後寄贈され、現在、いたばしボローニャ絵本館蔵書としてボローニャ・ギャラリーに展示されている。



絵本展示の様子



物品展示の様子

③ 姉妹図書館提携締結2周年記念展

イタリアと日本をつなぐ絵本展 ～絵本のなかで会いましょう！～

期 間 2024 年 3 月 22 日～4 月 21 日

場 所 中央図書館 1 階 25 番書架

イタリアと日本の子どもたちに、両国の人々との繋がりを感じてもらおうと、イタリア語版・日本語版が出版されている絵本 10 タイトルを両館スタッフによりセレクトし、展示した。



サラボルサ児童図書館での展示の様子



中央図書館での展示の様子

中央図書館では、同時に、2024 年 BOOM! でサラボルサ児童図書館が参加した「L'œil du monde (世界の目)」プロジェクトで、日本の造本作家駒形克己氏による出版者 ONE STROKE がピックアップされたことを受け、プロジェクト・出版者紹介展示も実施した。



「世界の目」展示の様子

(3) わらべ歌収集プロジェクト P.O.L.P.A.

姉妹図書館連携として、サラボルサ児童図書館で実施している、わらべ歌収集プロジェクト「P.O.L.P.A.」へ板橋も参加し、日本（板橋）の子どもたちが日頃触れるわらべ歌を収集・提供している。

日本女子大学社会連携教育センター協力のもと、日本女子大学児童学科根津知佳子教授を講師にむかえ、2022～2024 年度には計 5 回のワークショップを開催。板橋の子どもたちが日頃歌い遊んでいる“わらべ歌”を収集し、サラボルサ児童図書館へ継続提供した。2024 年 11 月 30 日現在、31 曲のわらべ歌が「RimPOLPA Itabashi」として P.O.L.P.A. プロジェクト HP へ掲載されている。また 2024 年 3 月には、それまでの第 1～3 回の成果について「いたばし子ども絵本展」内で展示を行った。

実施結果	第 1 回	2023 年 2 月 12 日	(11 名参加)
	第 2 回	2023 年 9 月 10 日	(6 名参加)
	第 3 回	2023 年 12 月 18 日	(6 名参加)
	第 4 回	2024 年 4 月 20 日	(11 名参加)
	第 5 回	2024 年 10 月 13 日	(7 名参加)

収集成果	♪茶壺	♪ひらいたひらいた	♪おちゃらか	♪お寺の和尚さん
	♪へのへのもへじ	♪おせんべい焼けたかな	♪かごめかごめ	
	♪なべなべそこぬけ	♪郵便屋さんの落としもの	♪大波小波	
	♪さんちゃんの絵描き歌	♪だるまさんがころんだ	ほか	

HP URL <https://www.bibliotecasalaborsa.it/ragazzi/home-bsbr/bambini-anteprima/polpa>



板橋でのワークショップの様子



HP への掲載

(4) めいぐるみおとまり会

ボローニャ市立図書館児童書部門で秋に合同実施している「めいぐるみおとまり会」について、サラボルサ児童図書館との姉妹図書館連携として、中央図書館でも同時期に同事業を開催している。

事業内で同時開催であることと姉妹図書館連携について案内を行い、また事業の様子は両館 SNS で共有するなど、連携のアピールを行っている。

めいぐるみおとまり会 とは

子どもたちからめいぐるみを預かり、子どもたちの代わりに図書館で過ごさせるというアメリカの公共図書館発祥の事業である。事業終了時には、図書館での様子を記録したアルバムや、めいぐるみが選んだ本と一緒に提供するというサービスを行う事例もある。

子どもたちが、自分の大切にしているめいぐるみが図書館を探検し、絵本を選び読んでいる様子を見ることで、図書館・絵本への愛着が生まれ、読書推進につながることを目的に実施するものである。

① 令和4年度

ボローニャ

2022年10月28日～10月29日

板 橋

2022年10月30日～11月1日



サラボルサ児童図書館での事業の様子



中央図書館での事業の様子

② 令和5年度

ボローニャ	2023年10月27日～10月28日
板橋	2023年10月29日～11月1日



サラボルサ児童図書館での事業の様子

中央図書館での事業の様子

令和5年度は、板橋での実施日とボローニャ市長の来館が重なり、市長との記念撮影という特別プログラムも実施した。



ボローニャ市長来館の様子

③ 令和6年度

ボローニャ	2024年12月6日～12月7日（※）
-------	---------------------

板 橋	2024年10月26日～10月28日
-----	--------------------



サラボルサ児童図書館での事業の様子

中央図書館での事業の様子

※ 大雨災害の影響により10月から延期し実施した

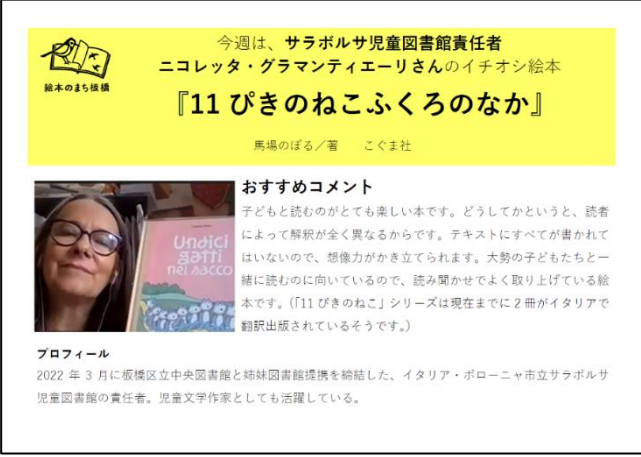
(5) その他

サラボルサ児童図書館長 ニコレッタ・グラマンティエーリ氏の
「私のイチオシ絵本リレー」参加

事業概要 区にゆかりのある方や、中央図書館近隣施設・店舗、区職員等に、おすすめの絵本や思い出の絵本を1冊紹介していただく。紹介していただいた内容は、週替わりで館内に展示するほか、いたばしボローニャ絵本館SNSにて投稿する。

日 程 2023年1月13日

紹介絵本 『11ぴきのねこふくろのなか』（馬場のぼる／著、こぐま社）



今週は、サラボルサ児童図書館責任者
ニコレッタ・グラマンティエーリさんのイチオシ絵本
『11ぴきのねこふくろのなか』
馬場のぼる／著 こぐま社

おすすめコメント
子どもと読むのがとても楽しい本です。どうしてかというと、読者によって解釈が全く異なるからです。テキストにすべてが書かれてはいないので、想像力がかき立てられます。大勢の子どもたちと一緒に読むのに向いているので、読み聞かせでよく取り上げている絵本です。（「11ぴきのねこ」シリーズは現在までに2冊がイタリアで翻訳出版されているそうです。）

プロフィール
2022年3月に板橋区立中央図書館と姉妹図書館提携を締結した、イタリア・ボローニャ市立サラボルサ児童図書館の責任者。児童文学作家としても活躍している。

紹介パネル

4. おわりに

板橋区立中央図書館とボローニャ市立サラボルサ児童図書館との姉妹図書館提携及び関連する連携事業は、図書館員間での情報提供やアイデアの共有を発端とし、利用者向けの展示企画、参加企画等の幅広いサービスへと繋がっている。また双方の図書館の持つ特色をシェアし刺激し合うことで、図書館員の積極的姿勢と柔軟な発想力を醸成する一助にもなっている。

今後も、板橋区とボローニャ市、板橋区立中央図書館とボローニャ市立サラボルサ児童図書館で協力し、日本とイタリアの垣根を超えた事業を実施していく。